

—個人史・社会問題・そして
人と人を結ぶことを目指して—

あっち

テーマ「涙」



35号

も く じ

- | | |
|-----------------|------------------|
| ・ ま え が き | 編 集 者 N - 2 - |
| ・ 人生の結晶 | あおちゃん - 3 - |
| ・ 「涙」 | 久保ゆかり -4~5- |
| ・ 涙 の 理 由 | 一之瀬 楓 -6~7- |
| ・ 涙とともに | kaokao - 8 - |
| ・ 浜通りを訪ねました | 青木麻衣子 -9~10- |
| ・ 『涙』 | 妖怪親父ゴンザレス-11~12- |
| ・ 涙、泣くということ | キイロイブタ -13- |
| ・ 泣くのがいやなら、さあ歩け | 津山 深雪 -14~15- |
| ・ 護良親王と淵辺義博 | 樋口 慶伍 -16~19- |
| ・ 編 集 後 記 | 編 集 者 K - 20 - |



まえがき

編集者 N

【まっち】35号ができあがりました。

こうして【まっち】35号を発行することができたのも、皆さんが原稿をお寄せくださったおかげです。本当にありがとうございます。

今回のテーマは『涙』でした。私は、うれし涙についての原稿ももう少し集まるかなと思っていましたが、やはり「涙」と聞くと悲しい涙を思い浮かべる方が多いのか、悲しみや切なさが伝わってくる文章が数多く寄せられました。

生きてると、さまざまな出逢いがあり、そして別れがあります。この5月末には文福の理事長がご逝去され、その影響もあってか、死や別れに関する原稿が多かったように感じています。

人は悲しみやつらい経験を通して、優しさを身につけていくと言われます。そう考えると、悲しい涙もまた、人の心を育てる大切な糧なのかもしれません。

この【まっち】を読んで、皆さんが何かを感じたり考えたりするきっかけとなり、日々を生きていくうえでの心の栄養になれば、私たち編集者にとってこれ以上うれしいことはありません。

どうぞ最後までこの【まっち】をお読みください。



人生の結晶

あおちゃん

私の仕事は介護士。この仕事に就いて17年。施設でも人生の最期を見送ることが少なくなかった。

利用者さんの晩年のケアについては、いつも考えさせられる。私は、新しい利用者さんに出会う度にアセスメントシートに目を通し、会話が可能な方は日々の会話の中でその方がどのような境遇で、どんな人生を歩んで来られたのかリサーチした上でその人その人に合ったケアを心がけている。

そして、近年避けて通れなくなって来たのは施設での利用者さんの看取り。つまり死。。

何年、介護の仕事をやっているにも辛く、「もっと何かしてあげれることはなかったのか。。」と後悔の念が絶えない。

亡くなる直前に利用者さんの頬を伝う一筋の雫。。何度も見て来ました。その雫の意味を私は正確に知ることはできません。

人生への感謝、家族への想い、言葉にならない苦しみや不安。

歩んできた時間の重みが一筋の涙となり、その結晶が人生の本当の幕なのかもしれません。

